

豊後大野市立大野小学校 【ICT活用の実際、自尊感情の醸成、板書の構造化、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際



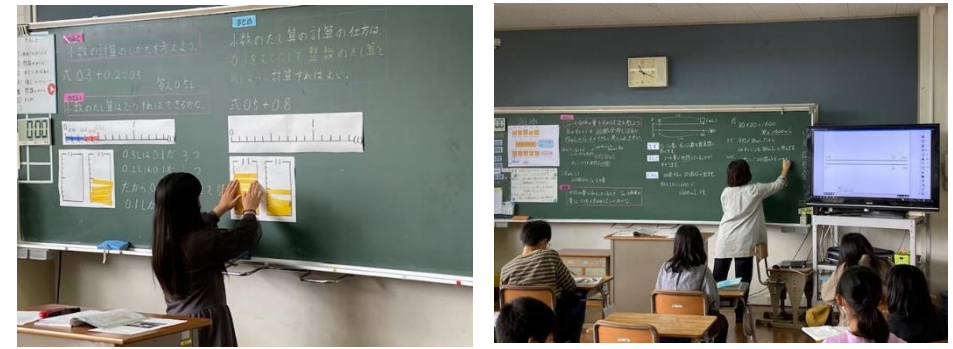
2年 国語科⇒1人1台端末の活用

2. 自尊感情の醸成



友だちのいいところ見つけ

3. 板書の構造化

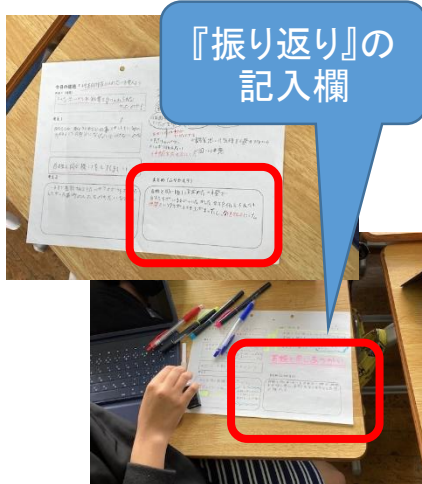


3年、5年 算数科の授業での板書

4. 自立した学習者の育成



自主学习ノートの好事例



ワークシート⇒振り返り

読書活動の充実



全校でおすすめする本を紹介する掲示物
⇒本に親しむ児童の増加

- 2年の国語科では、二つのものを比べる授業において1人1台端末の活用していました。思考ツール(ベン図)を用いて、共通点や相違点をわかりやすくまとめていました。
- 児童玄関に、『にじいろプロジェクト』として友だちのいいところを見つけて掲示する取組が行われていました。掲示された内容が、校内放送で全校に紹介され、自尊感情の高まりが期待できる取組となっていました。
- 3年、5年の算数科では、授業の流れや児童の考えが位置づく板書になっていました。また、本時の授業を振り返るときに、児童にとっては分かりやすく整理されたものとなっていました。
- 『自立した学習者の育成』については、自主学习ノートの事例が掲示され、児童がいつでも参考にできるようになっていました。また、6年の道徳科では、ワークシートに振り返りの記入欄を設けていました。